

東京日々新聞

五拾號



明治五年四月初旬

安正寺住僧

月圖帶刀

北越の頑民等

一揆隊長會藩

渡邊梯藏

不平の趣旨と強訴せんと

密に會合する機に乗じ旧會津

福岡藩の浪士等之不應

一揆を煽動して所々暴起す

惣勢凡六千餘人。上は天照皇の

三大守。下は徳川家恢復。朝敵奸賊

征伐と記し、旗章押付、兵器材

勢、新潟柏崎の兩處を襲んとす

參事公以下の縣官奔走して説諭及べど

理非と弁せぬ賊兵の勢ひますます盛んして、數名の

官吏は手傷を負せ鎮撫乃道中絶果けむ

兵力を以て征するも素より鳥合の土寇

あるは忽ち遁走し、巨魁の浪士は捕虜とあり

日あらば鎮靜あり。天威の赫々たるやあり

轉々堂主人記

一萬騎
女方義直



甲寅 具足屋

石田彫長

